

私は、難聴であり、普段は地域のクラブチームでサッカーをしています。チームメイトは、全員耳がきこえます。私は、人工内耳のおかげでみんなと会話することができます。しかし、合宿中や人工内耳の充電が切れてしまった場合は、きこえなくなってしまうので、会話が難しくなってしまいます。だが、みんなは私の難聴を理解してくれているので、ゆっくり、はっきり話してくれ、メモやお風呂の時は、くもった鏡に文字を書いて話しかけてくれます。普段の会話やミーティングは、コーチの横に行き、ききづらかった時は、マスクをその時だけ外してもらっています。時には、聞き逃してしまう時もあります。その時は、後から友だちにきいて教えてもらっています。今までで印象的だったことが三つあります。

一つ目は、一つ上の学年の公式戦で初勝利がかかっている中、自分が決勝点を決め、残り十分の時、攻められているので、チームのフォーメーションを変えました。その時、雨が降っていてきこえにくかったが、コーチが傘を使って「戻れ」という指示を出してくれたので、それに気づき、チームが勝てたことです。

二つ目は、公式戦に呼ばれたが、その日は運動会と重なってしまいました。だから、コーチに相談をしに行ったが、周りがうるさくて、きこえにくかったので、家に帰ってから **LINE** でコーチに「周りがうるさくて、きこえにくかったので、もう一度教えてください。」と伝えました。コーチはしっかりと教えてくれました。

三つ目は、試合前や試合中にチームメイト同士でアドバイスや注意を話し合います。きこえにくかった時は、試合後にきいて、次の試合で生かせるようにしています。私は、きき逃したり、もう一度聞きなおしたりすることが多くあります。

先日、私は友だちと一緒に友だちの知り合いのチームの練習に参加しました。そのチームは小学生のチームでした。小学生の子どもたちは、「耳につけているのは何」や「イヤホンをつけているの」ときいてきました。私は、難聴を理解してもらえるようにていねいに伝えました。

大変なのは、サッカーだけでなく、塾の時もです。講師の声が小さく、周りの声が大きいのできこえづらく、ききなおそうと思っても、まだ声が小さいので、繰り返しききづらくなってしまう。その時は、学校の授業で理解したり、復習をしたりします。

私は、友だちやコーチに自分の難聴について理解してくれているから、サッカーも楽しくできているのだと思います。子どもから大人まで、世界中の人々が難聴について理解してほしいと願っています。